

令和2年度琉球大学法科大学院  
A日程（甲方式） 未修者コース 入試問題

小 論 文

令和元年9月1日（日曜日）  
10時00分～11時30分（90分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子1部、解答用紙3枚、下書用紙4枚を配布します。  
試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 3 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 5 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 6 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。  
配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。  
問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 7 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

## 問題

次の【文章】を読んで、〔設問1〕、〔設問2〕、及び〔設問3〕に答えなさい。

### 【文章】

(文章については、著作権の関係で当Webページには掲載しておりません。)

(文章については、著作権の関係で当Webページには掲載しておりません。)

(武田晴人『鈍行列車の風景 第2回 企業という対象』「書齋の窓」2019.07月号(No.664) 有斐閣より引用)

〔設問1〕

「①企業という資本主義経済制度の主要な経済主体を取り上げてみても、それを簡明に表現すること、定義することは難しい。」という著者の記述を100字以内で具体的に述べなさい。

### 〔設問 2〕

「②比喩的に言えば、人も企業も「利潤最大化」という着ぐるみを着て市場の主体となることを求められており、そのようなあり方を経済学などの社会科学的認識が当然視することによって、規範的なものと受け入れられるようになったという方が事実認識として正しそうだ。」として著者が指している「事実認識」の内容を、100字以内で具体的に述べなさい。

### 〔設問 3〕

「③企業システムの進化を歴史的な視点で明らかにすることは、簡単なことではないが新しい発見に満ちた魅力的な主題である。」という著者の記述に関連して、あなた自身が、その進化を歴史的な視点で明らかにすれば魅力的な主題となるものを一つ選び、それを選んだ理由を800字以内で述べなさい。

以上

### 【出題趣旨】

まずは、経済史研究者である著者の記述から、経済史研究における概念把握の難しさを表す具体的な内容として、企業を例にとって、企業活動がはじめから営利を目的とするものであったことを前提とすることはできないこと、歴史のなかでは、もっと多様な姿が見出されるから、時間の経過とともに企業がなぜ営利を目的とする組織と考えられるようになったかを考える必要がある旨を指摘することを求める。

次に、著者の記述から、人と同様に、企業も生まれながらにして「経済人」というわけではないが、近現代では、そうした考え方を受け入れて生きることが必要だと教え込まれてきたから、経済人としてみることに妥当性が高くなった旨を指摘することを求める。

以上を前提に、著者の記述を踏まえて、受験者自身が、「その進化を歴史的な視点で明らかにすれば魅力的な主題となるもの」を一つあげてそのことを具体的かつ説得的に論じることを求める。

### 【採点基準】

#### 1. 設問 1 (20 点)

出題趣旨第 1 段の内容が指摘できているかどうかを評価する(表現は異なっても構わない)。

#### 2. 設問 2 (20 点)

出題趣旨第2段の内容が指摘できているかどうかを評価する（表現は異なっても構わない）。

3. 設問3（60点）

- (1) 「主題となるもの」をあげていること（10点）
- (2) 「主題となるもの」が「その進化を歴史的な視点で明らかにすれば魅力的」であることを述べていること（50点）
  - ア 具体的に述べていること（20点）
  - イ 説得的に述べていること（20点）
  - ウ 記述が論理的に整合していること（10点）

\*いずれも、字数制限を超えた記述については採点対象としない。